

キクガシラコウモリ

学名	Rhinolophus ferrumequinum(Schreber)		
目名	翼手目		
目名学名	CHIROPTERA		
科名	キクガシラコウモリ科		
科名学名	Rhinolophidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



【選定理由】

生息洞の消滅,洞内照明の積極化,洞内人為利用の推進などによる生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	県内全域の自然洞,人工洞,暗渠
分布域	北海道,本州,四国,九州(長崎・佐賀・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島),伊豆大島,三宅島,八丈島,佐渡島,対馬,五島列島,屋久島
世界的分布	ヨーロッパ,モロッコからインド北部,中国,朝鮮半島
生息環境	河川,平地,小丘陵,森林,草原などで採餌。営巣環境として岩裂,自然形成洞,人為造成洞,暗渠などを必要とする。
現状	県南地域では炭焼き窯の跡に生息している事例が多いが,窯の老朽化に伴う崩壊によって個体数が減少している。
備考	